

「市役所（本庁）の生ごみ実質ゼロ」大作戦

～生ごみを堆肥に 市役所本庁舎での食品ロス削減の取り組み～

食品ロスや生ごみを減らす一環として、令和3年4月1日から「生ごみ実質ゼロ」大作戦を始めました。

「生ごみ実質ゼロ」大作戦とは、市役所本庁舎で働く職員の弁当などの食べ残しを段ボールコンポストの力で堆肥にすることで、生ごみを減らすとともに、まずは職員から食品ロスに対する意識付けを始めようとする取り組みです。

開始以降、毎月安定的に回収できており、月に平均17kgの生ごみが集まっています。

また、活動を続ける中で、各種報道機関や地域の学生等から問い合わせをいただく機会も増え、食品ロスの意識が市民全体へ広まることをめざしています。

段ボールコンポストについては、出前講座も始めていますので、ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。



1か月で茶碗146杯分のご飯の量に相当するよ！



手軽に
生ゴミを
減量

段ボールコンポストの作り方

環境に
やさしい！

段ボールコンポストとは、段ボールの箱を容器として利用し、生ごみを堆肥化する方法です。電気を使わず、場所をとらず、臭いもそれほど気にならないので、手軽に始めることができます。

準備するもの

段ボール、ピートモス(15ℓ)(※)、くん炭(10ℓ)(※)、混ぜるためのへら

※園芸用品店で取り扱っています。

作り方

- ①準備した段ボールの継ぎ目部分（特に底部）をガムテープなどで補強する。
- ②底部が最も傷みやすいので、もう1枚段ボールや新聞紙など透湿性のあるもので補強する。
- ③基材のピートモス、くん炭を3:2の割合で段ボールの八分目程度まで入れる。ほこりっぽいときは少し水分（米のとぎ汁が良い）を足して調整すると良い。
- ④生ごみ（小さめの方が良い、2cm角）を入れ、必ず1日1回かきまぜる。

＜注意事項＞

- 虫を発生させないために、基材の上に新聞紙を敷いて、段ボールを上から布で覆う。
- 箱の中全体をすみずみまでかきまぜて。
- 箱がやぶれるので、ぬらさないように気をつけて。
- 箱が傷むので、水分の多い物は水切りを。
- 初めの2週間は変化なし。根気よくゴミを投入してください。

◎（栄養になるもの）

米ぬか、天ぷら油

○（分解できるもの）

炭水化物(ご飯・うどん)、甘いもの(砂糖・お菓子)、油もの(天かす、使用後のてんぷら油)、野菜くず、茶がら、コーヒーかすなど

△（分解が遅れるもの）

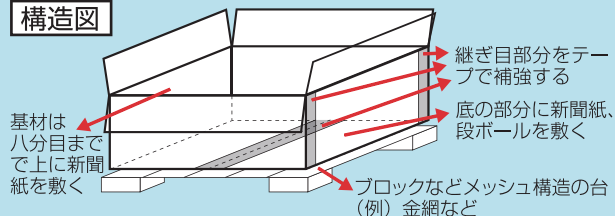
骨(豚・鶏がら)、貝殻、卵の殻、玉ねぎの皮、塩分の強いもの(塩辛、塩鮭)

×（入れてはいけないもの）

腐ったもの、木片、吸いごら、金属類など



構造図



※底部の通気性を保つため、メッシュの箱を敷いたりブロックの上に置くなど、箱と床との間に空間を保つようにしましょう。

？ 分からないことは…

〈お問い合わせ〉

大東市環境室 ☎ 072-870-4014